

## 日本飼養標準・豚(2013年版)



A4判 144ページ、CD-ROM付

価格:3,300円(税別)

※送料は実費ご負担願います。

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 編

2013年6月発売

### ○ 主な内容

本書は2005年版以来、8年ぶりの改訂で、豚の成長過程、生産量に応じた適正な最新の養分要求量等を示しており、飼料の経済的利用、生産能力の向上等、豚の合理的な飼養を行うための基礎資料となるものです。

①子豚・肥育豚、繁殖雌豚のエネルギーおよびアミノ酸要求量の見直し、②平成23年度に新しい「家畜伝染病予防法」が施行されたことへ対応するために「バイオセキュリティ」「家畜伝染病予防法の改正のポイント」の項を追加して疾病と栄養の解説を強化、③飼料の公定規格に環境負荷低減型配合飼料(子豚育成用および肉豚肥育用)の規格が新設されることから「飼料の公定規格」の項目を追加するなど、より生産現場のニーズに合わせた内容となっています。

#### 序章 飼養標準改訂の基本方針および本飼養標準の構成

##### 1章 飼養標準設定の基本的な考え方

1. 栄養素の種類 2. 養分要求量の示し方 3. 養分要求量の求め方

##### 2章 養分要求量(I)

1. 1日当たり養分要求量 2. 養分要求量－風乾飼料中含量－

##### 3章 養分要求量(II)

1. エネルギー 2. 蛋白質およびアミノ酸 3. 無機物 4. ビタミン 5. 水分

##### 4章 養分要求量に影響する要因と飼養上注意すべき事項

1. 子豚の栄養と飼養 2. 肥育豚の栄養と飼養 3. 栄養と肉質 4. 繁殖豚の栄養と飼養  
5. 品種・系統等の影響 6. 環境条件の影響 7. 疾病と栄養の関係 8. SPF(特定原病菌不在)豚の飼養管理 9. 分離早期離乳(SEW)豚の飼養管理 10. 飼料の加工処理など  
11. 食品残さの飼料化 12. 飼料用米の活用 13. ふん排せつ量、窒素、リン、銅および亜鉛排せつ量の低減および悪臭発生の抑制 14. 飼料添加物 15. 飼料の公定規格

##### 5章 飼養標準の使い方と注意すべき事項

1. 養分要求量の基本的考え方 2. 使用飼料の種類と品質 3. 飼料の配合設計の留意点と基本的手順 4. エネルギーおよびアミノ酸要求量算出の具体例 5. CD-ROMの使い方

##### 6章 参考文献

参考資料 1～5

申 込 書 公益社団法人愛知県畜産協会あて(FAX 052 - 968 - 2075)

(日本飼養標準・豚【2013年版】)

申込部数 :  部

注文年月日 : 平成 年 月 日

ご注文者

住 所 : 〒 \_\_\_\_\_

氏名または団体名等 : \_\_\_\_\_

[団体の場合] ご担当者 : \_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

通信欄